

令和 8 年 10 月 21 日

サーバ管理者 各位

情報セキュリティインシデント対応チーム

PHP の深刻な脆弱性 (PHP2Shell) について

このことについて、PHP の脆弱性 (通称 PHP2Shell) について報道がありました。この脆弱性は、最も深刻な脆弱性区分に分類され、外部からサーバを操作される恐れがあるものです。

一部情報では、既に PoC (攻撃を実証するコード) が存在する、設定の変更だけでは緩和策として不完全のため対策にはパッチ適用が必須となるということです。PHP を運用するサイトへの攻撃は既に始まっている可能性も考えられます。

本日 (10 月 21 日) 23 時を目途にベンダーの The PHP Group 社からセキュリティ対策のパッチが公表される予定となっています。PHP が稼働する公開サーバの管理者は、直ちにセキュリティパッチの適用をお願いします。対応体制が無く、22 日中の対応が難しい場合は対応完了までサーバ停止をご検討ください。

○対応内容

PHP 及び PHP 関連ツールのパッチ適用

○PHP が稼働しているサーバの例

WordPress、CMS、LMS 等

サーバの URL の中に .php という文字列が含まれるもの。

○報道情報

PHP に「緊急」レベルの脆弱性 2 件 修正版を日本時間 21 日深夜に公開へ、事前準備を呼び掛け - ITmedia NEWS

<https://www.itmedia.co.jp/news/article/2610/21/2000002446/>

PHP warns admins of two critical flaws, emergency patches coming tomorrow

<https://www.bleepingcomputer.com/news/security/php-warns-admins-of-two-critical-flaws-emergency-patches-coming-tomorrow/>

○技術情報

【事前準備のお願い】 PHP のセキュリティリリース公開予定について

<https://www.ipa.go.jp/security/security-alert/2026/pre-alert20261021.html>

PHP の重大な脆弱性「php2shell」(CVE-2026-109618、CVE-2026-109619) の概要と対応指針

<https://blog.flatt.tech/entry/php2shell>

○ベンダー公式情報

Upcoming Critical PHP Security Release

<https://www.php.net/archive/2026.php#2026-10-20-1>

本件連絡先

情報セキュリティインシデント対応チーム

情報企画室 松井、笹木

csirt@ml.osaka-kyoiku.ac.jp
